

株式会社シダラ

栃木県鹿沼市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

原材料を吟味して安心・安全はもちろん、 そして自然環境を守りながら、高品質の「土 づくり」を追求

- 12種類の原料を1度にブレンドできるミキシングプラントをいち早く導入し常に品質の安定した培養土を出荷
- 女性ならではの目線で常にエンドユーザーを意識したものづくりへの取組。2016年9月経営革新計画認定
- 安定した原料調達力と高品質かつ安全・安心な商品づくりを通じた取組で取引先企業から絶大な信頼を得ている

企業基本情報

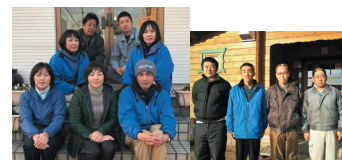
所在地	栃木県鹿沼市幸町 1-1-15
電話/FAX	0289-62-5452/0289-64-6101
URL	http://www.shidara-web.co.jp/
代表者	代表取締役 設楽 光江
設立	1977年
資本金	4,000万円
従業員数	11人



会社概要

1971年、鹿沼土の採掘販売業として創業。1977年4月法人化、現在は、園芸用培土製造卸売業を行っている。

園芸用培土は鹿沼土や赤玉土に肥料や珪石、腐葉土などをブレンドし、野菜やガーデニング用など用途に応じ多種多様な品種を製造。同社では主に生産者向け培養土を園芸専門店、代理店、種苗農家等に生産出荷している。



女性社員も多く活躍

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

専用製造ラインをいち早く導入し商品の均一化・生産効率向上を実現

12種類の原料が同時配合できるオリジナルソイルミキシングプラントの設置、培養土製造ライン・専用システムソフトウェア導入により、高品質な培養土の生産能力が向上し各取引先に対して安定した商品供給体制が整っている。その為、同社の培養土を使用した取引先の評価、リピート率も高く、多くの取引先から継続的な受注を獲得している。



1度に12種類の原料配合が可能なプラント

消費者目線でのものづくりで新たなユーザー層を開拓

エンドユーザーを見据えたものづくりとして以下の2点が上げられる。

1. インテリアガーデンソイル（そのまま花壇）

「パッケージがそのまま花壇になる商品」である。園芸用土を袋から出さずそのままプランターや花壇として活用できる。「軽くて簡単!」「使用後の培養土は可燃ごみとして廃棄が可能」で都市部のガーデニング・家庭菜園愛好者向けに開発。

2. 袋のまま育てられる培養土「STファーム」

生産者向け製品として「苺&トマト」栽培どちらにも使用できる商品を開発。パッケージはデザインより耐久性を持たせ、苗の植え込み位置や灌水位置を表示するなど「扱いやすさ」を追求した製品。



看板



エンドユーザー向け新商品
「そのまま花壇」

迅速な対応と商品の安全・安心保証で取引先との信頼関係を構築

東日本大震災に伴う福島県原発事故の影響で隣接する栃木県から出荷される園芸用土は風評被害により出荷停止や返品といった事態が相次いだが、同社に放射能測定器を導入し出荷する製品全てに放射能測定データを添付、いち早く安全対策に取り組んだ。また翌年に栃木県全体を襲った降雪災害では原料である赤玉土、鹿沼土、腐葉土が著しく不足する中でも、日頃の原料管理体制や同業者間の連携により途切れることなく製品出荷を可能とするなど取引先からの信頼は絶大である。



「土壌アドバイザー」有資格者4名在籍